

第6学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『幕府の政治と人々の暮らし』

(教科書：『小学社会 6 上』 p. 64～74／学習指導要領：内容（1）オ）

2. 小単元の目標

江戸幕府のしくみや大名との関係、外国との関係や人々の暮らしについて調べ、武士を中心とする身分制度が確立し、幕府の政治が安定したことを理解することができるようにする。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
幕府がどのようにして大名を従え、安定した世の中をつくっていったのかについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。	江戸時代の政治のしくみや社会の様子がどのようなものだったのかについて学習問題を考え、表現している。 江戸幕府の政治が安定していった要因を、幕府と大名の関係や、外国との関係、身分制度と関連づけて考えている。	江戸時代の政治のしくみや外国との関係、人々の暮らしの様子について、想像図や絵図、地図などから読み取り、まとめている。	江戸幕府が、大名や人々をどのようなしくみで支配したかを理解している。 江戸幕府が鎖国政策をとるまでの経緯について理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

これまでの学習では、戦国時代の武将の活躍など、当時に思いを馳せながら、意欲的に学習に取り組む児童の姿が見られた。一方、歴史事象にかかわる人物や用語などをしっかりと習得しているが、それぞれの因果関係などの関係性を見いだすことが難しい児童の姿も見られた。

そのため、自信をもって自分の考えをもったり、発言したりする姿が少なかった。

そこで、本小単元の導入では、大名行列の絵図を提示し、参勤交代についての事象を丁寧におさえるなかで「なぜこんなに面倒なことを江戸幕府はさせるのかな。」という意識を醸成したうえで、参勤交代をさせた江戸幕府の政策について考えさせる。そうすることで、一人一人の児童が自分の考えをもち、意欲的に発言する姿につながると考えた。

(2) 教材について

本小単元では、本時で使う参勤交代の絵図で得た江戸幕府の政策のついでに、次時に使う大名配置図、将軍にあいさつする大名絵図、武家諸法度の資料を読みこなすための一つの視点としていくことを考えている。本時で「江戸幕府は、大名が逆らえないようにして安定した世の中にし

なかった」という視点をもった児童は、次時以降に扱う大名配置図などの資料もそうした視点からとらえ、それぞれの資料を関係づけることができると考えた。こうすることで、江戸時代の学習の終末には、江戸時代が約 260 年もの長い間続いたことについて、江戸幕府の政策が関係していることを理解できると考える。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小単元では、江戸幕府の行った様々な国内政策や対外的な政策に関する資料を多く扱う。そのため、児童は提示される資料から歴史事象を一つ一つ読み取ることだけに終始し、歴史事象の知識のみの獲得となることが予想される。そこで、児童に提示する資料を精選することや、資料の読み取りで得た知識や視点を使いながら比較させたり、関係づけたりさせることを工夫しながら進める必要がある。その工夫として、「なぜ江戸幕府は」という言葉を学習課題のキーワードとして用いたり、授業の終末に江戸幕府がその政策を行った理由についてまとめたりさせることで、常に江戸幕府の政策を意識させながら、自分の考えをもたせるように学習課題を設定した。

また、一人一人の児童が資料から読み取って考えたことを交流する手段として、ホワイトボードを4人グループの各班に渡し、江戸幕府の政策について話し合っただけで考えを深める場面を設定し、児童が自信をもって発言できるようにした。

5. 小単元の指導計画（総時数5時間）

時	ねらい	○学習活動 ・ 内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ） 【本時】	参勤交代について調べることを通して、江戸幕府の政治の方針について考える。	○大名行列の絵図を読み取る。 ・ 大勢の人が歩いている。 ・ 周りの人たちが正座している。 ○大名行列の説明を聞き、「参勤交代」という言葉を知る。 ・ 金沢藩の前田氏の大名行列。 ・ 2000 人くらいの行列。 ○参勤交代について調べる。 「参勤交代」とはなんでしょう。 ・ 参勤交代が大名の義務であること。 ・ 1 回の大名行列で3～4 億円もつかう。 ○課題について話し合う。 なぜ江戸幕府は、参勤交代をさせたのでしょうか。 ・ 江戸に妻子がいると攻められないから。 ・ 大名行列にお金がかかり武器が買えないから、逆らえないようにしているのかな。 ○江戸幕府が参勤交代を大名にさせた理由についてまとめる。	◎金沢藩（加賀藩）の大名行列の絵図を提示する。（黒板の上部に、長さが実感できるように拡大して提示する） ◎白地図を用意し、江戸と藩の領地を行き来することを図示する。 ◎考えたことを各班でホワイトボードにまとめさせる。 ◆調べたことをもとに、江戸幕府が参勤交代をさせた理由について考えている。 (思・判・表／ノート・発言・ホワイトボード)

② (調べる)	大名の配置や武家諸法度について調べることを通して、江戸幕府の政策について考える。	○大名の配置図のワークシートに親藩・譜代・外様大名を色分けする。 ○作業をして気づいたことを話し合う。 色分けした大名配置図から気づくことはなんですか。 ・江戸の近くに親藩や譜代大名が多い。 ・江戸から遠い九州などには、外様大名が多い。 ○課題について話し合う。 なぜ江戸幕府は、大名の配置をこのように決めたのかな。 ・外様大名が逆らわないように江戸から遠い場所にした。 ・遠い場所から参勤交代させて、お金をかわせて武器を買えないようにした。 ○江戸幕府が大名の配置を決めた理由についてまとめる。	◎大名の配置図のワークシート ◎政治の中心である江戸幕府を位置付けた、大名の配置図を拡大して掲示する。 ◆前時の参勤交代の内容と結びつけながら、大名の配置の意図について、考えをもつことができる。 (思・判・表／発言) ◎武家諸法度の資料
③ (調べる)	絵踏や鎖国までの年表について調べることを通して、江戸幕府の政策について考える。	○キリスト教取りしまりの絵図から、気づいたことを話し合う。 この絵からわかることはなんですか。 ・えらい人の前で、何かをふんでいる人がいる。 ・何かを書いて記録している人がいる。 ○絵踏について調べる。 ・キリスト教の取りしまりをしていたこと。 ・厳しく取りしまっていたこと。 ○鎖国までの年表を提示する。 ・外国の船の来航を禁止している。 ○課題について話し合う。 なぜ江戸幕府は、外国との交流をしなくなったのかな。 ・外国から攻められないようにするため。 ○江戸幕府の外国との交流についてまとめる。	◎キリスト教の取りしまり絵図を拡大して提示する。 ◎踏絵のレプリカを提示する。 ◇幕府が貿易の利益や外国の情報を独占したことも理解させる。 ◆江戸幕府の政治の方針を理解している。 (知・理／ノート)

④ (調べる)	近隣諸国との交流について調べることを通して、鎖国政策のもとでも外国と交流していたことに気づく。	○朝鮮通信使の絵図から気づいたことを話し合う。 この絵からわかることはなんですか。 ・旗に龍の絵が描いてある。 ・服装が日本の武士とは違う。 ○朝鮮通信使について説明する。 ○課題について調べる。 他にも、鎖国をしている日本と交流をしていた国はあるのかな。 ・北海道のアイヌの人たちと交流している。 ・沖縄の琉球王国とも交流している。 ○交流している国や内容を白地図に書く。 ○鎖国しているにもかかわらず、江戸幕府が近隣諸国と交流していることについてまとめる。	◎江戸を訪れる朝鮮通信使の絵図を提示する。 ◇北海道や沖縄では、幕府の支配が強くなっていったことを補足説明する。 ◆鎖国をしている日本でも、近隣諸国と交流していたことを理解している。 (知・理／ワークシート)
⑤ (まとめる)	身分ごとの権利や生活の違いについて調べることを通して、身分制度のもとでの人々の暮らしについて理解する。	○江戸時代には身分がいくつかに分かれていたことを説明する。 ・武士 ・百姓 ・町人 ・その他 ○身分ごとの人口の多さを考える。 身分ごとの人口の割合のグラフに、それぞれ当てはまる身分はどれでしょうか。 ・これまで武士がたくさん出てきているから、割合が多いのは武士だと思う。 ・米をつくる百姓が多いと思う。 ○課題について話し合う。 割合の多かった百姓は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。 ・室町時代に品種改良などをしたから、わりと楽な暮らしをしていると思う。 ・きっと前と変わらず苦しい生活だったと思う。 ○『百姓に対する法令』から、百姓の暮らしについて調べる。 ○江戸幕府が厳しく身分を分ける制度をとっていたことについてまとめる。 ○江戸幕府が行った政策について、これまでの学習をもとに考えをまとめる。	◎身分ごとの人口の割合の円グラフ（身分の名称を隠して、数値だけにしたもの） ◇「その他の身分」の厳しい差別を受けた人たちについては、教科書を読んで事実をおさえる。詳細については、道徳などの人権同和教育の中で扱うこととする。 ◎『百姓に対する法令』を提示する。 ◆江戸幕府の行った身分制度について理解している。 (知・理／ノート・発言)

6. 本時の指導（第1時）

（1）本時のねらい

参勤交代について調べることを通して、江戸幕府の政治の方針について考える。

（2）本時の構想

本時は、江戸幕府が行った参勤交代について調べ、この政策を行った江戸幕府の政治の方針（考え）について考える。

はじめに、金沢藩（加賀藩）の大名行列の絵図を見せ、参勤交代の意味を理解する。ここで、人質として妻子を江戸に住まわせていることや参勤交代によって莫大な費用がかかることを理解する。調べて感じたことを発表させ、課題「なぜ江戸幕府は参勤交代を大名にさせたのだろう。」を設定する。調べてわかったことから、参勤交代をさせた江戸幕府の政治の方針について自分の考えをもたせる。

次に、4人グループで考えの交流をさせる。この場面で、ホワイトボードを使い自分の考えを紹介する。その後、江戸幕府の政治の方針についてグループで検討し、一つまたは二つの考えに絞り、ホワイトボードに書かせる。次に、それぞれのグループでまとめたホワイトボードを黒板に貼り、全体で検討してまとめる。

一人ひとりの考えを紹介し、グループでまとめさせることは、それまでに調べた参勤交代のそれぞれの事象が、「江戸幕府の政治の方針」になっていることを考えさせるうえで有効だと考える。その後、それぞれのグループのまとめを全体で検討することにより、明確な「江戸幕府の政治の方針」がわかり、本時のねらいが達成されると考えた。

（3）本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
5	○大名行列の絵図を読み取る。 T1：この絵からわかることはなんですか。 C1：大勢の人が歩いている。 C2：周りの人たちが正座している。 ○大名行列の説明を聞き、「参勤交代」という言葉を知る。 T2：金沢藩（石川県）の前田氏の大名行列です。この行列の人数は 2000 人くらいです。これは、江戸に参勤交代する様子を表した絵です。	◎金沢藩の大名行列の絵図を提示する。 ◇「参勤交代」の言葉を提示し、「参勤交代」について調べようという気持ちをもたせる。

15	○参勤交代について調べる。 「参勤交代」とはなんでしょう。 T3：参勤交代とは何か，金沢藩を例に調べてみましょう。 C3：江戸に人質として住んでいる大名の奥さんや子どもに会いに行くこと。 C4：1年おきに江戸と自分の藩を行ったり来たりすること。 C5：大名がする義務になっている。 C6：1回の大名行列で，今でいうと3～4億円をつかった。 T4：参勤交代を調べてみて，どんなことを感じましたか。 C7：なんでこんな面倒なことをするのか。 C8：幕府（家光）が，やらないといけないと武家諸法度で義務にしたからだよ。	◎金沢藩と江戸城の位置関係がわかるように白地図を掲示し，まとめる。児童にも，プリントを用意する。 ◇参勤交代について調べて感じたことを発表させ，課題を導く。
15	○江戸幕府が参勤交代を大名にさせた理由について考える。 課題 なぜ江戸幕府（家光）は，参勤交代をさせたのでしょうか。 T5：グループの中で，自分の考えを紹介しましょう。 C9：江戸に奥さんや子どもが人質としていたら，攻められないから。 C10：1回の大名行列で3～4億円もつかうことになるので，武器が買えなくなるから。 T6：「江戸幕府が参勤交代させた理由」について，グループで一つか二つに意見をまとめましょう。	◇一人ひとりが自分の考えをもつ時間を確保する。考えることが難しい児童には，友達の考えを参考にすることを促す。 ◇グループごとにホワイトボードを配り，四隅にそれぞれの考えを書かせ，発表させる。 ◇ホワイトボードの真ん中に，グループの考えをまとめさせる。 ◇それぞれのグループのホワイトボードを掲示し，全体でまとめる。 ◆調べたことをもとに，江戸幕府が参勤交代をさせた理由について考えている。 (思・判・表／ノート・発言・ホワイトボード)
10	○江戸幕府の政治の方針についてまとめる。 まとめ 「幕府が参勤交代をさせた理由は，」 大名を逆らえないようにし，安定した世の中にするためです。	◇ホワイトボードにまとめた各グループの考えを子どもたちに集約させながら，本時のまとめにつなげる。

7. 備考

さらなる学習内容の定着と言語活動の充実を考えて、本時の学習後に次のような内容の自作テストを行った。

<内容>

近年、小説や映画などで参勤交代を題材として話題になった『超高速！参勤交代』について取り上げた。問題は、次の2問について記述させた。

問題① なぜ題名に「超高速」という言葉が使われているのですか。いそいで参勤交代しないとその藩はどうなるのか答えましょう。

問題② この物語は、参勤交代を終えて自分の藩にもどったばかりの大名のもとに、幕府から手紙が届くところから始まります。手紙には「5日後にふたたび参勤しなさい。さもなくば…」ということが書いてありました。そこで、大名行列に必要なものや人を集め、昼も夜もなく走り続け、その道中で起こる様々な出来事を乗り越えながら江戸に向かっていく様子がえがかれています。この物語の内容から、江戸幕府はどんなことを考えて政治を行っていたと思いますか。

この問題を解くことにより、本時で学習した内容と次時で学習する「武家諸法度」の内容から、参勤交代しないと藩が取りつぶしになることを発展的に捉えさせることができる。また、江戸幕府が「武家諸法度」により大名を、鎖国により外国との交流を、また身分制度により人々を統制することで、政治を行ってきたと捉えさせることができる考える。